

平成26年度 「千葉県安全性向上プロジェクト委員会」
議事要旨

■ 開催日：平成27年3月3日（火） 14:30～16:00

■ 場所：千葉市総合保健医療センター 5階 大会議室

■出席者

千葉工業大学 工学部 教授	赤羽 弘和（委員長）
千葉県警察本部 交通総務課	山田 幹司（代理出席）
千葉県警察本部 交通規制課	勝又 憲彦（代理出席）
一般社団法人千葉県トラック協会 交通環境部長	岩井 亮
公益財団法人千葉県交通安全協会 事業管理課長	松野 勉
一般社団法人千葉県安全運転管理協会 事務局長	黒瀬 明
千葉県県土整備部道路環境課	實川 常博（代理出席）
千葉県環境生活部生活・交通安全課	山本 功（代理出席）
千葉市建設局土木部	永名 淳悟
国土交通省関東地方整備局 首都国道事務所	川路 隆之（代理出席）
国土交通省関東地方整備局 千葉国道事務所	松浦 利之

■議事

(1)規約の改正

事務局より規約の変更について説明し、委員の変更について承認を得られた。

(2)議事

1) これまでの取組み報告、2) 対策実施区間のフォローアップ結果報告

○全国レベルの高齢者事故件数が多くなっている。

千葉県もこれから高齢者の事故対策を重点的に進める必要があるかもしれない。高齢者のドライバー対応のみではなく、高齢者の歩行者としての安全性を高めることも考えないといけない。

○国道357号二俣交差点は、走行軌跡や速度などの分析により、対策の目論見通りかどうか、対策に意味があるのかが分かることになる。他の箇所でも対策を行なう場合に、非常に参考になる。信号制御の見直しも事故対策にも繋がるのが期待される。今後の事故件数の減少にも期待する。

○今回の委員会資料には、フォローアップ結果の事例が多く紹介されていて、よい試みである。また、対策前後の信号現示が示されているのは、大変分かりやすい。構造的な対策と信号制御は連動しているため、継続してほしい。

3) 事故危険区間の更新結果の審議

○削除区間の履歴は残した方がよい。

4) その他の交通安全の取組み報告

○道路構造と信号を組み合わせることで、効果が異なる。道路構造の対策と信号現示の変更を合わせることが重要である。

○道路安全監査は、道路管理者が立案した対策案の妥当性の検証や、新しい視点での対策を取り入れる事ができ、良い取組みである。

しかしながら、監査という言葉は、英語の Audit を訳したものであるが、日本は、諸外国と行政の仕組みや法律も異なっている。名前を「診断」にするというアイデアもある。

○千葉県ではないが、沿道住民の賛同を得ないと対策ができない地域もある。こういった地域に、第三者の専門家により、対策の必要性を示すことは、地域を動かすきっかけになるものではないか。

○今後は新設道路も含めて、安全監査を行なうことも良いと思う。